

よしかわICT教育通信

発行：R5.6 吉川市教育委員会 ☎984-3564（学校教育課） Vol. 20



ICTとは、Information and Communication Technology、つまり「情報通信技術」を意味します。ICT教育は、教育現場で活用される情報通信技術そのものや、取り組みの総称です。

吉川市の進める ICT 教育について

吉川市では、小中学校の9年間の学びの連続性を意識した教育活動を推進しています。

令和5年度は今までの実践を活かしながら、一人一人が学びを進めていける学習環境の構築を目指していきます。

一人一人が自己の学びを進める「個別最適な学び」を具現化していくためには、一人一台端末の活用が求められます。

そのためには、ICTを利用するために正しい知識・技能が必要となります。吉川市では、子供たちをICTの善き使い手にするため、「デジタル・シティズンシップ教育」を令和3年度から取り入れています。



吉川市 HP <http://bit.ly/3CJJvkn>

従来の「情報モラル教育」の発展型 デジタル・シティズンシップについて深めていきます

従来の情報モラル教育はネット依存症や SNS の影響等を題材に ICT の危険性を訴え、利用を抑制する傾向がありました。

しかし、今やデジタル社会の進展に伴い、ICTに関わることは避けて通れません。様々なリスクはありますが、「使ってはいけない」から「どう使えばよいか」への意識の転換を求められています。そこで注目されているのが「デジタル・シティズンシップ教育」です。（詳細は Vol. 10）



教職員、児童生徒向けの研修及び講座を市内全小中学校で実施

主体的に考える講座の開催

昨年度はデジタル・シティズンシップについて、小学校低学年から中学校まで発達段階に応じて6つのテーマを設定し、講座を実施しました。

テーマごとに自分の考えをまとめ、共有し合い、ICTの使い方等を自分で決定します。

今年度はさらに小学校の2, 4, 6年生、中学校において一歩踏み込んだ実践的な内容を実施していく予定です。

昨年度までに実施したデジタル・シティズンシップ教育に関わる動画は吉川市の YouTube チャンネルにアップしていますのでご覧ください。

■ テーマ

1. インターネットの特性・仕組みを学ぶ
2. インターネットの投稿を考える
3. インターネット上の悪口・いじめを考える
4. インターネット上のウソやだましにのらない
5. ネットのマナー・プライバシー・権利を守る
6. メディア・リテラシーを高める

YouTube チャンネル
はこちら⇒

<https://onl.sc/yQZGYLz>



一人一人が主体的に学びを進める

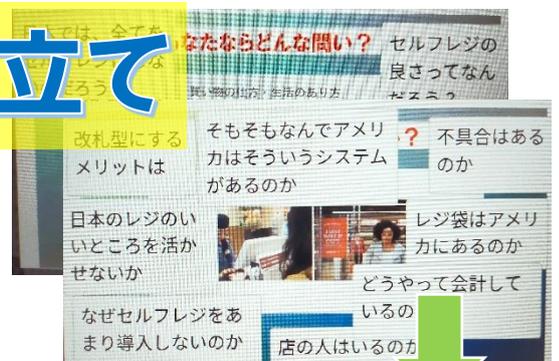
PBL (Project Based Learning) について取り組んでいきます。

今年度は、昨年度からのデジタル・シティズンシップに加え、PBL (Project Based Learning) にも取り組んでいきます。

PBL は「課題解決型」「知的発見型」「創造型」等の探究型の学習を指します。今までの「みんなで同じことを、同じように」することから自ら問いをつくり、答えをみつける学び方への転換です。

PBL において大切なことは、子供たちが興味を持ち、ワクワクしそうなテーマをミッション化していくことです。なぜその課題に取り組むのか、何を目指して学習に取り組むのかを児童生徒一人一人が自覚して活動することで、当事者意識が高まり、主体的な姿勢が身に付きます。

吉川市では、まず総合的な学習の時間を軸に PBL を進めていく方針です。



その他、ICT に関わる取組

発表

上記で紹介した研修、講座以外にも複数の ICT に関わる研修や事業を計画しています。

最終的に児童生徒が正しい理解のもと、上手に ICT を活用し、学びを豊かにしていくことが大きな課題です。

吉川市としては、教職員へ向けた研修による教職員の指導力向上、児童生徒に向けた講座を同時並行で推進することで、児童生徒の資質・能力の向上を目指していきます。



吉川市プレゼンテーション大会



吉川市でのプレゼン大会は、令和3年度から始まり、今年で3回目となります。

令和5年度はプレゼン養成講座に「PBL」の視点を盛り込み、探究的な活動を通して自己の学びの発信につなげていく予定です。



市内教職員希望研修



教職員 ICT 研修ベーシック講座（年4回）

本市で使用しているミライシードをはじめ、Google workspace や Microsoft Office のツール等について、基本操作、活用方法を軸に研修を実施。



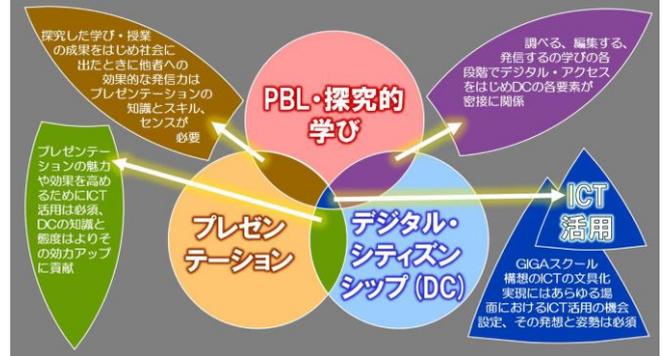
吉川市 Sou Zou 塾（年6回）
幸手市と協働開催（計 12 回）

デジタルシティズンシップ、PBL、プレゼンテーション、その他 ICT に係る効果的な実践等、普段の授業に活かせる内容を実践的に研修すると共に両市等の教職員交流が実現。

めまぐるしく変化する ICT の環境に対応していくには、子供たちを指導する教職員の知識や指導力の向上が必須事項です。

吉川市では、令和5年度より、「ICT 研修ベーシック講座」により、教職員の ICT に関する基礎的な知識・技能を、「SouZou 塾」により ICT に関する一歩踏み込んだ実践的な研修を実施しています。

また、「SouZou 塾」は吉川市と幸手市が共同で計画、実施を進めており、教職員の市の垣根を越えた研修であり、指導に関する様々な視点の共有、発展を目指しています。



リーディング DX 推進事業の取組

リーディング DX 事業における吉川市のコンセプト



本年度吉川市では文部科学省事業の「リーディング DX 推進事業」に選出され、各取組を進めています。本事業は、普段の学習における「一人一台端末の効果的な活用」を広めていくことが目的で、学びの充実を目指すものです。

吉川市では、東中学校区を推進地区、南中学校区、中央中学校区、吉川中学校区を協力地区に定め、小中一貫で、9年間の学びの連続性を意識した、一人一台端末の活用を進めていく方針です。

本事業は現在、吉川市で推進しているデジタル・シティズンシップ教育やPBL学習と深く関連するもので、市全体のICTに関する知識・理解・活用技術を児童・生徒、教職員が身に付け、学びを拡げ、様々な事柄に主体的な関わりができる力を育成していくことがねらいです。

